



第23回卒業式

- 日 時 2020年3月7日（土）
- 場 所 体育館
- 参加者 全校児童生徒
- 様 子

今年度の卒業生は、小学部6年が7名、中学部3年が3名でした。

卒業生の大きな返事、堂々とした立ち振る舞いは、在校生には目指すべき目標、あこがれの姿として映ったことと思います。また、卒業生一人一人の決意の言葉には、海外で育ったからこそその思いも込められていて、どの卒業生も、とても立派な発表でした。

在校生は各学年が自分たちで考えたメッセージを、感謝の気持ちを込めて伝えることができました。在校生からは「明日へつなぐもの」、卒業生からは「生きる証」の合唱があり、卒業生と在校生の心が通じ合う、とても温かで、素晴らしい卒業式となりました。



ジョホール日本人学校では縦割り活動（異学年交流）を大事にしてきました。各種行事の中で縦割り班での活動を取り入れたり、日々の清掃活動でも異学年で班を作り清掃を行ったりしています。少人数を活かしてのアットホームな雰囲気です。学年の壁を越えた交流がなされています。昼休み体育館では小学部1年生から中学部の生徒まで一緒になって遊ぶ姿が見られます。中学生が上手に小学生の相手をしている姿は実に微笑ましいです。

そういう異学年交流の関わりの中から、上級生はリーダーシップを学び、上級生の姿に憧れを持ち、やがては自分もあなりたいと思う下級生が育っています。大規模校と違い、人前に立つことが苦手な子供達も、全員がリーダーとして下級生の前に立たなければなりません。やがて人前でも堂々と話ができる中学生や高学年が育ちます。

そして、その集大成が今回の卒業式でした。式の途中、卒業生の中には思いがこみ上げてきて涙する子も。卒業生と離れがたい在校生も涙して、すすり泣く声が体育館に響きました。そういう子供達の姿に臨席している来賓や保護者、教職員も思わず涙してしまいました。

卒業する子供達は、どのように育つのか、卒業に当たっての次のメッセージで垣間見ることが出来ると思います。



中学部卒業生 これからの自分

私はこれからはじまる高校生活に向け、自分の人間性を見つめ直し、よりよく改善していこうと思います。高校生活ではもちろん、将来社会に出た時も、人間性は人とのつながりや、相手が受ける印象に大きく関わってきます。これからいろいろな場面で、楽しく意義深い生活にするという点で、友人たちとの関わりや感情の共有が必要不可欠となります。人間性を欠いていれば、友人を新しく作る事ができません。私は高校生活を充実したものにできるよう、そして家族に心配や迷惑をかけないように、素晴らしい人間性を身に付け、自分の思い描く自分になれるよう努力します。

私の将来の夢は、世界での森林保全や野生動物保護の仕事に携わることです。私は、マレーシアで野焼きによってヘイズが発生することや、オランウータンが減少していることを知り、そのようなことをなくす仕事に就きたいと思うようになりました。これから、英語は海外で仕事をする上で必ず必要になってきます。だから、私は高校ではもっと英語の学習に力を入れたいです。また、英語だけでなく他の言語も習得し、世界の多くの国の人とコミュニケーションをとれるようになりたいと思っています。
自分の夢を実現させるために、たくさんのことを経験しながら、成長していこうと思います。

私は高校生になったら、語学力を高めることと、異文化理解を深めることに努めたいと思っています。英語だけではなく、中国語や韓国語、スペイン語などの他の言語にも挑戦し、教養を身に付け、「国際人」に近づきたいです。
高校卒業後は、「外国へ渡り、その国と日本との架け橋となるような仕事をする」という自分の夢を叶えるために、海外で学びたいと考えています。そのために、高校生活では少しも努力を怠らず、常に未来を見て、何事にも一生懸命に取り組んでいくつもりです。

小学部卒業生 好きな言葉

僕の好きな言葉は「自分らしさ」です。ジョホールに来てたくさんの友達と出会い、僕は変わることができました。みんなが心を開いて接してくれたから、僕も心を開くことができました。帰国した友達、今一緒にいる友達みんなに感謝しています。

私の好きな言葉は「純粋」です。理由は何かがあってもブレず、真っ直ぐな気持ちでこれからも生活していきたいからです。中学生になると勉強や部活も今より厳しく、苦しくなってきます。そんな時でも前向きに純粋な気持ちで中学校生活をすごしていきたいです。

僕の好きな言葉は「希望」です。なぜなら、希望をもって行動することで、難しいことや苦手なことに対しても前向きに考えられるからです。これからの中学校生活では、希望をもって前向きに物事について考えたり、行動したりしようと思います。

「壁は、乗り越えられる人にしかこない」これが僕の好きな言葉です。この言葉を聞いて、壁に立ち向かおうと思えし、それを乗り越えることだってできたからです。これからも、何事にも勇気をもって壁に立ち向かっていきたいです。

私の好きな言葉は「一生懸命」です。中学生になると、色々大変なことも多くなると思うので、一生懸命に取り組みたいです。いつも頼ってばかりの中学生じゃいけないので、真剣に取り組み、自立して部活や勉強などを積極的に頑張っていきたいです。

私の好きな言葉は「チャンス」です。理由は、JSJ でいくつかのチャンスをつかんだからこそ、自分の可能性を広げることができたと思えるからです。自分に与えられた試練は自分の成長につながるチャンスだと思って中学校に進学したいと思います。

「無理と思わずやってみる」この言葉に初めて出会ったのはペスタクラパでした。始めは縦割り班長としてどんなことをすればいいかわからないし、自分には無理かなと思っていました。けれども、この言葉通りやってみるとできるということがわかりました。

